

2017(平成29)年

9月27日

水曜日

旧暦8月8日
先負

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

南日本新聞

地域活性化 鹿島企業の知恵拝借



調印書を手に握手する
（左から）川添健長島町
長と西田隆昭川商ハウス
社長 —26日、町役場

空き家空き地
活用策を探る
長島町と川商ハウス
長島町と川商ハウス
は26日、空き家・空き
地の利活用に関する連

携協定を結んだ。川商
が近く町内に支店を開
設し、家屋などの売買、
賃貸の仲介のほか、空
き家管理サービスなど
も手掛ける。
2016年に町が実

施した調査によると、
約900戸の空き家が
確認され、空き家率は
16・5%で対策が課題
となっていた。
町は8月、川商、鹿
児島相互信用金庫と
もに不動産に関する相
談会を実施。売買・賃
貸のニーズがある一
方、地元不動産業者
がないため、協定を結
ぶことになった。
町役場であった調印
式で川添健町長は「過
疎・高齢化が進む中、
空き家対策は大きな課

題。町民から公設住宅
を要望する声もあり、
専門的分野での協力に
期待する」と話した。
川商ハウスの西田隆昭
社長は「若い人が住め
る場所づくりを手伝え
れば幸いだ。地域と密
着し、次世代に向けた
活性化を図りたい」と
あいさつした。
川商が鹿児島市外に
支店を出すのは初め
て。町は廃校など公共
施設改修による利活用
も視野に入れている。
（田中公人）